

つながる、ささえる、680万

# 連合救援ボランティアレポート

第 21 号  
2011 年 5 月 17 日

| 1

## 連合ボランティア 延べ人数 1 万人を超える

連合救援ボランティアの延べ活動人数は、5 月 16 日時点で 10,289 人となりました（実派遣人数は 1,540 人）。活動内容は被災家屋や道路、田畑の泥出し、家財の片付け、避難所での炊き出し、支援物資の仕分けと多岐にわたり、活動地域の広がりとともに連合の取り組みに対する理解が広がっています。

この間ご参加頂いた各構成組織・地方連合会の皆さんに感謝申し上げますとともに、引き続きのご協力をお願いいたします。

### 活動レポート

#### 岩 手

##### ●住田拠点

【5/15】床下の泥出しおよび石灰撒き、泥をかぶった家具や洗面台の高圧洗浄を実施。

**現地から** 連合ボランティア隊の皆さんは、家主さんの指示に従いつつ、てきぱきと作業しました。作業も5日目となり疲れもありますが、同時にやりがいも日に日に大きくなっています。

#### 宮 城

##### ●仙台拠点

【5/11～13】石巻市と亘理町で家屋・敷地・側溝からの泥出し、家財の移動などを実施。

**現地から** 亘理町では一本松地区で側溝のヘドロ除去作業を実施。3 日間で 3km の側溝から 1,600 個以上の土嚢を積み上げました。

#### 福 島

##### ●福島拠点

【5/13～14】相馬市で被災家屋からの泥出し、農機具の搬出、新地町では道路側溝の泥出し、土嚢への土砂詰めを実施。

**現地から** 相馬では、家主が要望していた金婚式の写真（石版）を発見し、喜ばれました。新地町は津波被害の甚大な地域であり、改めて震災の被害を実感しながらの作業です。

##### ●会津拠点

【5/13～16】郡山班は、郡山市とその周辺の避難所での炊き出し、野菜カット、会津若松班は支援物資センターでの物資仕分け、配布を行う。

**現地から** 直接配膳まで行っているところでは、避難された方と顔見知りになり、会話することもあります。16日はどの避難所でも配膳数が用意した数を下回りました。仮設住宅が決まって移動が始まったことなどもあるようです。

※連合災害対策救援本部は 16 日、福島県南相馬市を連合救援ボランティアの活動対象に加えることとしました。福島県社会福祉協議会、連合福島からのボランティア要請と、福島第一原発から半径 20km～30km 圏内に設定されていた「屋内退避区域」の解除を踏まえたものです（当該地域は「緊急時避難準備区域」ですが、通常の生活をする上で健康への問題はないことが政府により確認されています。なお、「計画的避難準備区域」では活動を行ないません）。活動にあたっては、通常通りのボランティア活動が可能ですが、マスク等の装備、緊急時の避難対応など必要な措置を講じた上で活動を実施することとします。